

東洋電機製造株式会社設立趣意書

最近我国ニ於ケル一般工業ノ発達ハ之ヲ欧洲戦乱前ニ比シテ真ニ隔世ノ感アリ、就中造船及機械工業ノ勃興ハ日ト共ニ進ミ月ト共ニ増加シ殆ンド底止スルトコロヲ知ラザルガ如キ進境ヲ見ルニ至リシハ寔ニ国家前途ノタメ慶賀スベキ現象ナリトス

惜ムラクハ造船ニ於テハ鉄材ノ生産供給其需要ニ伴ハズ機械ニ於テハ電気其他ノ精巧品ニ於テ未ダ之ガ製作ヲ自ラシ能ハザルモノニ三ニシテ停マラズ就中方今最モ必要ニシテ其ノ販路亦拡大セル電気鉄道用「モーター」及之ニ附帯スル電機器ノ製作ハ専売特許ノ制裁ト技術ノ到ラザルトノ原因ニヨリ之ヲ内地ニ於テ製作シ能ハザルハ斯界ノタメ遺憾トスルトコロナリ況ンヤ其車体、車輪、車軸ハ勿論進ンデハ「フレーム」ニ至ルマデ殆ンド全部内地製作ノ可能ナルニ係ハラズ只僅ニ「モーター」及ビ之ニ附帯スル電機器製作ノ一事ニ至ツテハ如上ノ欠陥ノタメ空シク之ヲ海外ニ仰グノ止ムナキハ真ニ隔靴搔痒ノ憾アルノミナラズ最近ニ於テハ輸出禁止若クハ船腹不足ノタメ其ノ輸入スラ意ノ如クナラズ甚シキニ至ツテハ全然輸入不能ノ悲境ヲ見ルニ至リシハー入吾人ノ遺憾トスルトコロナリ

茲ニ於テカ吾人接衝ノ結果漸クニシテ今回英国デイック・カー株式会社ト協定シ同社ノ専売特許權ヲ得且ツ同社ヨリ熟練ナル技師及職工長等ヲ傭聘スルノ契約ヲ締結シ内地ニ於テ外国製品ト同一ノ精良ナル「モーター」及之ニ附帯スル電機器ヲ製作スルノ自由ヲ捕捉シ得タルハ斯界ノタメ洵ニ喜

ブベキ好消息タルヲ信ズ

抑モ「デイック・カー」株式会社ハ英国ニ於テ古キ歴史ヲ有シ信用厚ク世界ノ各方面ニ愛顧セラルルハ勿論其ノ資本ノ巨額ナル營業ノ堅実ナル其ノ製品ノ優良ナル点ニ於テ誇ルベキ声価アルハ敢テ吾人ノ喋々スルマデモナク我が日本ニ於テモ鉄道院、呉海軍工廠、佐世保海軍工廠、大蔵省、東京市電気局、大阪市電気鉄道部、京阪電気鉄道会社、京都電気鉄道会社、京成電気軌道会社、京王電気軌道会社、名古屋電気鉄道会社、猪苗代水力電気会社、南満洲鉄道会社、日本火薬製造会社、日本セルロイド人造絹糸会社、リバー・ブラザーズ会社等各方面ニ多大ノ供給ヲナシ其製品ノ優良且堅実ニシテ所謂英国式ヲ發揮スル上ニ於テ些ノ遺憾ナキハ前記使用者ノ現ニ認識シテ賞賛措カザルトコロナリ

如斯偉大ニシテ信用アル而カモ同盟国ノ有力ナル会社ト握手提携シーハ以テ内地需要ノ窮乏ヲ補ヒ一ハ以テ将来東洋各地其他ノ輸出ヲ經營セバ啻ニ斯業界ノ不便ト不利トヲ排除シ得ルノミナラズ延テ内ハ輸入ヲ防止シ正貨ノ流出ヲ禦ギ外ハ進ンデ輸出増加ノ助勢ヲナスハ国家ノタメ裨益スルトコロ些少ナラザルベシ

吾人ガ茲ニ東洋電機製造株式会社ノ設立ヲ計画シ大方ニ向ツテ賛同ヲ仰ガントスル所以ノモノハ蓋シ国家産業上工業ノ独立ト海外貿易ノ発展トヲ期待セシガタメニ外ナラズ幸ニ吾人ノ計画ヲ賛成セラレ揮ツテ助力アランコトヲ切望ニ勝ヘズト爾云

（原文は縦書き）

大正六年 発起人

起業目論見書

- 第一 本公司ハ東洋電機製造株式会社ト称ス
- 第二 本公司ハ左ノ業務ヲ営ムヲ以テ目的トス
一、電車用其他一般ノ電気機械、器具類ノ製作、販売及ビ其輸出入業
二、前項ニ附帯スル一切ノ業務
- 第三 本公司ノ資本金ハ金参百万円トシ一株ノ金額ヲ金五拾円トス
- 第四 本公司ノ第一回株金払込ハ金拾貳円五拾銭トシ第一回払込金ヲ以テ略々工場一切ノ設備ヲナシ、第貳回払込金ヲ以テ其不足金及運用資金ニ充当スル方針ナリ
- 第五 本公司ノ本店ハ之ヲ東京市ニ置キ便宜ノ地ニ支社又ハ出張所ヲ置ク
- 第六 本公司ハ英国デイック・カー株式会社ト特約シ其専売特許權ヲ有スル「モーター」其他ノ電気機械器具類製造ノ内地分権ヲ一定条件ノ下ニ買取シ之ガ製作ヲナスモノトシ且ツ製作ニ要スル熟練ナル技師、職工長等ハ同会社ヨリ傭聘スルノ契約ナリ
- 第七 収支予算ニ於テ戦時収支予算ト平時収支予算トヲ區別シタルハ現在欧洲戦乱猶繼續スルモノトセバ支出ニ於テ諸材料職工賃等現在市価以上ヲ予算スルノ必要アリ依テ支出

- 予算ハ其ノ方針ニヨリ尚充分ナル予備費ヲ設ケ万遺漏ナキヲ期スルト共ニ収入予算ニ於テモ現在市価ヲ標準トシ彼此権衡ヲ保タシメタリ
- 第八 前項ノ如ク幸ニ戦時予算ヲ以テスル収入壹ケ年間繼續シ得タリトセバ本公司ハ全収入ノ約参割五分ヲ固定財産償却金及各種積立金等(除賞与金)ニ充当シ尚且ツ株主ニ対シ年四割ノ配当ヲナシ得ベシ
 - 第九 平時収支予算ハ総テ戦前ノ時価ヲ標準トシ支出ハ之ニ多少ノ増加ヲ見込ミ尚其ノ上ニ相当ノ予備費ヲ設ケ収入ハ戦前ノ時価ヲ以テシタルヲ以テ極メテ安全ナルモノト認ム
 - 第十 収入予算ニ於テ「デイック・カー」株式会社ノ専売トスル電車用「モーター」ハ現ニ独占供給ノモノハ現在毎年内地ニ於ケル売上数量ヲ基礎トシ其他ハ輸入額ノ半数ヲ見込ミ「コントローラー」「トランスフォーマー」「ステーションナリー・モーター」及附属機械器具ハ総テ全輸入額ノ一割ヲ供給スルモノトシテ予算シタリ
- （原文は縦書き。数字は省略。）

設立発起人

渡邊 嘉一	東京	石塚 彦輔	横浜	植村 俊平	東京
池貝 庄太郎	〃	大浜 忠三郎	〃	渡辺 文七	横浜
浜口 吉右衛門	〃	堀田 金四郎	東京	田中 茂	〃
近藤 賢二	〃	千葉 松兵衛	〃	磯野 庸幸	〃
大塚 栄吉	〃	若尾 璋八	〃	佐藤 政五郎	〃
渡辺 勝三郎	〃	武 和三郎	〃	木村 庫之助	〃
和田 豊治	〃	久米 良作	〃	今井 孫市	新潟
高田 正一	〃	近藤 滋弥	〃	鍵富 三作	〃
田中 銀次郎	〃	朝比奈林之助	〃	斉藤 喜十郎	〃
L・J・ヒーリング	〃	井坂 孝	〃	久須美秀三郎	〃
谷口 守雄	〃	吉村 銀之助	〃	山口 建造	長岡
山村 征吉	〃	玉木 辨太郎	〃	川上 佐太郎	〃
野村 竜太郎	〃	阿部 吾市	〃	小川 清之輔	〃
藤井 諸照	〃	菅原 恒覧	〃	横山 芳松	金沢
藤田 謙一	〃	池上 伸三郎	〃	上遠野富之助	名古屋
青木 正太郎	〃	辻 太郎	〃	井上 周	大阪
田岡 忠次郎	〃	内藤 久寛	〃	太田 光熙	〃
中村 房次郎	横浜	牟田口 元学	〃	小曾根 貞松	神戸

以上54名